

東京春祭を楽しむ(8)

—ライブ配信(8)—

1. 始めに

[Web 情報紹介【2021No.32】](#)で紹介した東京春祭 21 から興味を引いたプログラムを視聴していきます。

2. 東京春祭ライブ配信の試聴方法

試聴方法は下記のとおりです。

PC→UACU-700→Sonica DAC→BACU-1000→DA-3000→Brooklyn DAC+
→AACU-1000→TruPhase→AACU-1000→Langevin 6V6pp

今回は、東京春祭の美術と音楽～米元響子（ヴァイオリン）の演奏を視聴しました。

プログラムは以下に示すとおりです。

日時・会場

2021/04/11 [日] 14:00 開演（13:40 配信開始）

東京都美術館講堂

出演

ヴァイオリン：米元響子

ピアノ：中島由紀

曲目

フォーレ：ヴァイオリン・ソナタ 第1番 イ長調 op.13

I. Allegro molto

II. Andante

III. Scherzo : Allegro vivo

IV. Finale : Allegro quasi presto

ショーソン：詩曲 op.25

ラヴェル：ヴァイオリン・ソナタ ト長調

I. Allegretto

II. Blues. Moderato

III. Perpetuum mobile. Allegro



3. 東京春祭ライブ配信の試聴結果

有料の配信の配信ということで、アカウントの取得は済んでおり、プログラムチケットの選択、チケットの支払い条件の設定、当日の演奏画面へのエントリーなど、一連の操作は前報(4)のとおりです。

演奏中の画像をいくつか示します。





米元響子は、[女性ヴァイオリン奏者のコンサート](#)で演奏を聴いており、イザイの無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲のCDも[ディスコグラフィー【2019No.154】](#)で報告しています。

プログラムはオールフランスものの演奏で、曲に合わせた背景の絵画の投影もフランスの画家のもので、ルノアール、ドガ、ボナールなどの作品でした。

フォーレとショーソンはフランスものらしい詩情に富んだ曲ですし、ラヴェルはバンジョーを模した技法やジャズ風アレンジされたエスプリの効いた曲です。

しっとりとしたショーソンも、アグレッシブな難曲のラヴェルも息のあった演奏でした。

4. まとめ

東京春祭の室内楽演奏のライブ配信の受信ができました。

以上